

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 2月 10日

公表: 令和 5年 2月 14日

事業所名: たまりばオレンジ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	元気に遊ぶ子と静かに遊ぶ子のスペースを分けて使用している。	
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		毎日のミーティングや毎月の職員会議にて改善点を話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		アンケート結果を基に職員間で話し合いを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	ZOOM研修などを積極的に受講した。	全職員に今後も研修を受けてもらい、知識の向上に繋げていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		面談をして保護者のニーズを聞いて計画を立てるようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		職員で話し合い、毎月新しい活動を考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		過去の活動表を見比べて、固定化しないように工夫している。リクエストなども取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		学期ごとに各利用者さんの目標を職員で話し合って決めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日、ミーティングを行って確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		翌日のミーティングにて振り返りを行い、情報の共有をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	1人一人、毎日の様子のポイントとなる部分はしっかり記録に残している。	職員の意識をさらに高めるべきではないか。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		半年に1度はモニタリングを行い、見直しを検討している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達管理支援責任者と担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		引き渡し時に様子を聞く。連絡帳にて情報の共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		医療的ケアが必要な子は現在いませんが、服薬する時は、処方箋や医師の診断書を基に行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			新規で利用される場合は、情報を収集していく。相談員にも様子を聞いていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		該当者がいませんが、卒業する子がいる場合は、情報をしっかり提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		コロナの為、できていないが落ち着いたら機会を設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡帳や送迎時、電話にて伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		より専門性を高め、保護者の方に適切なアドバイスができるようにしていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時や、重要事項が変更した時にしっかり伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		送迎時、面談時に話を聞いている。	話しやすい関係を作り、的確なアドバイスができるように知識を深める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		コロナの為、できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情があった際は、しっかり対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月、内容が分かるようなお便りを出している。活動は、毎月予定表を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人が特定できるものを破棄する際はシュレッダーにかけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		コロナの為、できていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	職員がいつでも見れる場所に保管してある。	保護者への周知がしっかりできていない為、周知の方法を考えて行く。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	年に2回避難訓練を行っている。	色々な場面を想定して訓練ができるように、職員間で話し合う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	何が虐待にあたるかを、日々のミーティングでも話し合い、確認している。	職員が振り返る事ができるような機会を設ける。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	計画にもしっかり記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	アレルギーの子が利用する場合、おやつなどの中身を確認し、入れ替えている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	ヒヤリハットを職員全員が確認している。必要時には、基づいて話し合いを行っている。	ヒヤリハットを基に話し合いを行い、再発防止に努めていきたい。